

「フィールドワーク 共生の森もがみ」活動報告会（発表会） のポイント・留意点

フィールドワークでお世話になった地域の方々からいただいたご恩にこたえるためには、みなさんの「学び」を地域に還元する必要があります。地域の方々「なるほど」「学生さんを迎えてよかった」と思ってくださいような発表を期待しています。

発表に対して、教職員スタッフによる評価を行います。この評価は成績評価に影響します。以下に示す「評価のポイント」を参照して、発表準備を進めてください。

<評価のポイント>

◆課題発見と探求(フィールドワークでの学び)について

- ①内容の独創性
- ②課題発見能力
- ③課題探求能力
- ④発表の情報の量
(文献的にどれだけ勉強したか、自分たちの考えたことを相対化するために)
- ⑤発表の情報の質
(最新で正確な情報を入手していたか、質の高い勉強であったか)

◆発表の方法(技術)について

- ①発表方法の独創性(メッセージ性、インパクトなどを含む)
- ②論理性(要点の整理や分かりやすい構成などを含む)
- ③具体性(活動した具体的内容や参加者の生の声を反映しているか)
- ④表現力(視線、表情、ジェスチャー、声の大きさ、速さなどを含む)
- ⑤タイムマネジメント(発表時間は正確に)

1月中旬を過ぎると、他の授業のレポート、試験対策等で忙しくなります。学生のみなさんが集まって、この発表を練り上げていくこともそう簡単に進められなくなります。早め早めの対応をすることをお勧めします。

エリアキャンパスもがみ事務局
山形大学高等教育研究企画センター